

むらまち通信

第139号

2013年12月2日 発行



「冬のフットパス」に向けた現地調査を実施



○ 実施状況

- ・日 時：平成25年12月1日（日）10時00分～
- ・場 所：ピリカコタン → 砥山ダム周辺
- ・主 催：八剣山発見隊
- ・参加者：5名（吉田隊長、原口、平田、紺谷、塚本）

来年2月に実施を予定しているスノーシューによる八剣山周辺のフットパスに向けて、1回目の現地調査を行いました。予定しているルートは平成24年8月に歩いたところですが、今回はスノーシューにより歩こうということになりました。

ピリカコタンに集合し豊平川に沿って歩き始めましたが、雪がまだ10センチ程度のため、笹などが生い茂っている状態であったことから後日に調査することとし、農地に沿って南側から調査を行いました。

砥山ダムへ向かう途中の崖には上から下に向けて水路が設けられており、その水路の中を勢いよく水が流れ落ちていたほか、砥山ダムの下流部分の壁面からもかなりの勢いで放流が行われていました。

また旧定山溪鉄道の線路用地が崩れないよう石積みがしている箇所があるなど、夏のフットパスではわからなかった部分についても確認することができました。

今回予定していた豊滝については調査はできませんでした。

調査終了後は八剣山ワイナリーに移動。紺谷さんが用意したピザ生地ピーマンやタマネギ、ベーコンを載せ、上からたっぷりチーズをかけて、暖房用として使っている薪ストーブに入れてピザを焼き上げました。

焦げて炭になった箇所はありましたが、今回の参加者及びワイナリーの皆さんも、美味しいピザを十分に堪能することができたところです。

午後からはピリカコタンにおいて、小金湯の農業試験場跡で進められている小金湯さくらの森の整備に関して「小金湯さくらの森を活かし、地域活性化を目指すフォーラム」が開催され、現状と地域の要望などがパネリストにより話し合われましたが、これには60人の皆さんが参加していました。



薪ストーブでのピザ焼き

さくらの森フォーラム



豊平川に沿っての調査

雪の中のリゾートハウス



砥山ダム下流部分の調査



発行：塚本むらまち計画研究室
主 宰 塚 本 保 弘

061-1276
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10
携帯電話：090-7515-7057
E-mail : fhuka@rose.ocn.ne.jp